



宮前中だより

さいたま市立宮前中学校
学校通信 No. 1
令和3年4月8日(木)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

『新年度のスタートにあたり』

校長 大木 克己

学校教育目標： 力強く生き抜く生徒の育成
学校経営方針： 目指す学校像：活気ある学校
 目指す生徒像：気迫ある生徒
 目指す教師像：気概ある教師



咲き誇っていた桜も散り、木々は新緑の春を迎え、新しい生活に希望が燃える時期になりました。4月8日、宮前中学校は170名の新入生を迎え、2、3年生合わせ生徒数493名でスタートしました。別面で紹介がありますが12名の職員が新天地へ異動され、新たに12名の転入職員があり、気持ち新たに新年度のスタートとなりました。3月で宮前中学校を去られた先生方は、感染症が治まらない状況下でみなさんと十分なお別れができなかったことを残念に思っていました。今年は4月30日に離任式を実施する予定なので、そこでお世話になった先生方にみなさんの感謝の気持ちを伝えてください。

今、学校近くの結婚式場から鐘の音が聞こえてきました。私は宮前中学校着任前日に、その式場で行われた同僚の結婚式に出席していました。時は流れ本校で4回目の春を迎えました。また、教員生活まとめの年にもなりました。3年前に着任した時に、生徒の元気なあいさつや素晴らしい歌声に感動したこと、武道場前のネットに掲げられた栄光を讃える部活動の懸垂幕を見て、「在任中にネット一面を懸垂幕で埋め尽くそう」と決意したことを思い出します。(※部活動懸垂幕は、一昨年の台風の影響で剥がれてしまいました)その時に掲げた目標はまだ達成半ばです。コロナ禍で学校の教育活動も依然として制限を受ける中ですが、教職員と知恵を出し合い、可能な限り生徒の成長につながる活動を実施する予定でありますので、引き続き保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、以前にもお伝えしたように、学校は変革の時です。新学習指導要領が全面実施となり、GIGAスクール構想も動き出しました。生徒全員に配備されたタブレットを活用した教育活動が展開されます。部活動も将来的には地域活動へ移行していく計画が示されています。『学校とは何か』が問われる時かもしれません。私は英語教員として、生徒に「生きた英語」を指導できるように、絶えず自身の英語力を向上させるためラジオ講座に取り組んだり、ALTとの研修会などに参加したりしました。また、部活動指導においては、新しい指導方法や戦術を理解するために、多くの指導者と意見交換したり、解説書を読んだりしてきました。時代は変化し、今や自分のしてきたことなどパソコンやスマホの動画で簡単にできる時代となりました。しかし、『教育は人なり』という言葉があります。「教育に大切なものは、人間性であり、人と人とのよりよい信頼関係を作っていけるかどうかで、その成否は決まる」という意味です。宮前中学校はICT機器を活用しながら、人間性(教職員)で勝負できる学校にしていきたいと決意した新学期のスタートです。